

先進医療を実施可能とする保険医療機関の要件として考えられるもの

先進医療名及び適応症：子宮頸部内視鏡検査（UCE：Uterine Cervical Endoscopy） 子宮頸部腫瘍	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	<input checked="" type="radio"/> （ 内科、消化器内科または婦人科、産婦人科 ）・不要
資格	<input checked="" type="radio"/> （ 日本消化器内視鏡学会専門医または日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 ）・不要
当該診療科の経験年数	<input checked="" type="radio"/> （ 7 ）年以上・不要
当該技術の経験年数	要（ ）年以上 <input checked="" type="radio"/> 不要
当該技術の経験症例数 注1)	実施者〔術者〕として（ ）例以上 <input checked="" type="radio"/> 不要 [それに加え、助手又は術者として（ ）例以上 <input checked="" type="radio"/> 不要]
その他（上記以外の要件）	研究参加前に子宮頸部腫瘍の診断トレーニングとして消化器内科・婦人科医が参画した症例読影に関するWebミーティングに少なくとも2回以上参加し、かつ診断アトラス及び動画を共有してトレーニングされた者であること。
II. 医療機関の要件	
診療科	<input checked="" type="radio"/> （ 内科または消化器内科 ）・不要
実施診療科の医師数 注2)	<input checked="" type="radio"/> ・不要 具体的内容：消化器内科の経験年数6年以上の医師が1名以上
他診療科の医師数 注2)	<input checked="" type="radio"/> ・不要 具体的内容：1名以上の婦人科学を専門とする医師が常勤、非常勤を問わず、婦人科腫瘍の診療を行っていること。また、婦人科医に子宮頸部腫瘍診断に関する相談が可能な体制を整備していること。
その他医療従事者の配置 （薬剤師、臨床工学技士等）	要（ ） <input checked="" type="radio"/> 不要
病床数	<input checked="" type="radio"/> （ 70 床以上 ）・不要
看護配置	<input checked="" type="radio"/> （ 10 対 1 看護以上 ）・不要
当直体制	<input checked="" type="radio"/> （ ）・不要 内科系又は外科系の医師1名以上が当直していること。また、婦人科医1名以上が当直またはオンコール待機していること。 ただし、婦人科医については、下記「他の医療機関との連携体制」が確保されている場合は、この限りではない。
緊急手術の実施体制	<input checked="" type="radio"/> ・不要 24時間体制を有する機関と連携している施設も可
院内検査（24時間実施体制）	<input checked="" type="radio"/> ・不要 24時間体制を有する機関と連携している施設も可
他の医療機関との連携体制 （患者容態急変時等）	<input checked="" type="radio"/> ・不要 連携の具体的内容： 24時間対応できる婦人科の体制を有していない当該保険医療機関は、婦人科の24時間体制（当直・緊急手術・院内検査）及び入院の機能を有する施設と連携し、バックアップ体制が整備されて

	いること。
医療機器の保守管理体制	①要・不要
倫理委員会による審査体制	審査開催の条件： <i>(再生医療等安全確保法及び臨床研究法に基づく研究においては、本項の記載は不要)</i>
医療安全管理委員会の設置	①要・不要
医療機関としての当該技術の実施症例数	要 (症例以上) ・①不要
その他 (上記以外の要件、例；遺伝カウンセリングの実施体制が必要 等)	技術の実施症例数が2症例以上の経験がある医師を機関内に少なくとも一名以上、有すること
Ⅲ. その他の要件	
頻回の実績報告	要 (月間又は 症例までは、毎月報告) ・①不要
その他 (上記以外の要件)	

注 1) 当該技術の経験症例数について、実施者〔術者〕としての経験症例を求める場合には、「実施者〔術者〕として () 例以上・不要」の欄に記載すること。

注 2) 医師の資格 (学会専門医等)、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の△科医師が□名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。